

2026
年度版

漢検®

後援：文部科学省

漢検団体受検 ハンドブック

申し込みから結果到着まで、この一冊でわかる。

1年間、大切に保管してください。

目次

漢検の概要	P.1	実施について	P.12
検定日程	P.2	結果について	P.14
準会場受検の流れ	P.3	団体公開会場受検	P.15
日本漢字能力検定 準会場規程	P.5	各種制度について(準会場・公開会場共通)	P.16
申し込みについて	P.7	特別欠席制度について	P.18
志願者情報の有無について	P.8		
検定料の支払いについて	P.9		
繰越者を含む申込方法	P.11		

重要

2026年度からの主な変更点

- ・検定料を改定いたします。→P2
- ・「志願者個別申込・個別決済」サービスが始まります。→P7
- ・検定料控除制度を改定いたします。→P9
- ・予備の問題・答案用紙の枚数を変更いたします。→P12
- ・FAX申込を廃止いたします。

本冊子に掲載していたQ&Aは、漢検ホームページ内の「よくある質問・お問い合わせ」ページに移行しました。お客様から多く寄せられるご質問とその回答を、カテゴリ別にわかりやすく掲載しています。キーワード検索で、知りたい内容をすぐに見つけられます。

【漢検ホームページ】よくある質問・お問い合わせ
<https://www.kanken.or.jp/kanken/contact/>



よくある質問・お問い合わせは
こちらから

【漢検ホームページ】漢検 団体サポートサイト
<https://www.kanken.or.jp/dan-sprt/>



資料のダウンロード・
資料請求はこちらから

公益財団法人 日本漢字能力検定協会

■本部 〒605-0074 京都市東山区祇園町南側551番地



2000098

全国各地の教育委員会が後援！詳しくはこちら▶



漢検の概要

紙（ペーパー）での受検（PBT）

団体受検

受検種別	準会場受検	団体公開会場受検
受検種別詳細	設置条件を満たしている学校や団体が、自ら団体受検用の会場と責任者を設け実施する。	個人受検者のために設けられた会場での受検だが、申し込みは団体の担当者がまとめて行う（結果も担当者宛にまとめて届く）。
設置条件 / 申込資格	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校教育法に定める学校（専修・各種学校を含む）、各省市庁の学校および官公庁 ● 上記以外の団体（塾や企業など）は、協会に準会場設置申請をして承認を得る。 ● 「準会場規程」(P.5)の記載内容を遵守することができる団体 	申込担当者（未成年・学生は不可）を必要とする。
検定会場	準会場（設置条件を満たしている学校や団体が自ら設けた団体受検用の会場）	公開会場（当協会または当協会と特別に提携した機関が一般の受検者のために設けた会場）
受検可能級	2級～10級	1級～10級 ※3級以上を受検する方は、検定当日に顔写真の持参が必要
申込条件	2級～10級の準会場での志願者が合計 10名以上 「準会場規程」(P.5)の遵守を誓約すること	1級～10級の公開会場での志願者が合計 10名以上
検定日程 (次ページ参照)	協会が用意する日程の中から選択 2026年度 13日程 ※詳細は漢検ホームページを参照 ●注意● 用意した日程以外で実施した場合は全員失格	協会が用意する日程の中から選択 年3日程(日曜日)
検定時間	2～7級:60分 8～10級:40分 実施曜日によって異なる。 平日・土曜日▶開始時刻は問わない。 日曜日▶公開会場と同日のため、公開会場の検定時間に準ずる。 ※詳細はP.5、P.6	1～7級:60分 8～10級:40分 公開会場検定時間 ※詳細はP.15
変更点 検定料控除制度	団体の経費負担を補助する制度 検定料から以下が控除できる。※詳細はP.9 ・検定運営手数料 ・申込代行手数料（郵送申込は適用外） ●注意● 志願者から検定料を割り引いて集金することは不可	団体の経費負担を補助する制度 検定料から以下が控除できる。 ・検定運営手数料 ・申込代行手数料（郵送申込は適用外） ●注意● 団体公開会場受検の「検定運営手数料」は半額。（検定当日の運営が発生しないため） ●注意● 志願者から検定料を割り引いて集金することは不可
申込方法	P.7▶	P.15▶
検定料払込方法	「インターネット申込(団体一括決済方式)」「郵送申込」の場合は、検定日の約2週間前に発送される専用の払込票で、検定日前日までに払い込む。 準会場受検▶はP.9▶ 団体公開会場受検▶はP.15▶	
合否の通知	準会場実施から 30～35日後 を目安に受検者全員分の検定結果資料が一括で担当者に発送される。	公開会場の 検定日から約40日後 を目安に受検者全員分の検定結果資料が一括で担当者に発送される。

一般受検者の申し込み受け入れにご協力いただいている地域開放型準会場もございます。
団体受検での実施が難しい場合、受検希望者にご案内いただくことも可能です。 詳細はこちらから▶



個人受検

検定会場	公開会場（当協会または当協会と特別に提携した機関が一般の受検者のために設けた会場）
受検可能級	1級～10級※3級以上を受検する方は、検定当日に顔写真の持参が必要
受検資格	制限なし
受検票と検定結果資料	志願者へ直接送付

個人受検 申込方法

インターネットで申し込む（スマートフォンからも申込可能）。

<https://www.kanken.or.jp/kanken/>

※個人受検の申込方法や申込受付期間は漢検ホームページをご覧ください。

コンピューターでの受検（漢検オンライン・漢検 CBT）

検定資格のレベルや認定は従来の漢字検定※と同じです。 ※従来の漢字検定：問題用紙・解答用紙を用いて実施する漢字検定を指します。

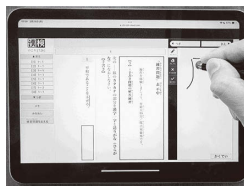
漢検オンラインとは

個人受検

団体受検

※2級～10級対応

- 漢検オンラインとは、パソコンやタブレットを使ってインターネット経由で漢検を受検するシステムです。
- 受検環境の整った任意の場所（学校・塾・自宅等）で受検可能です。
- 通常の検定日に限定されず、団体受検（漢検準会場）の場合は自由に検定日を設定していただけます。
- 合否結果は検定日の約14日後以降に確認できます。
※検定結果はPDFデータでの提供となり、紙媒体での発行はできません。



漢検 CBT とは

個人受検

※2級～7級対応

- 漢検CBT（Computer Based Testing）とは、コンピューターで漢検を受検できるシステムです。
- このシステムを導入している検定会場で受検可能です。
- 通常の検定日に限定されず、都合の良い日を選んで受検できます。
※実施日と開始時間は、会場によって異なります。
- 合否結果は検定日の約10日後に確認できます。
※検定結果はPDFデータでの提供となり、紙媒体での発行はできません。



検定日程

2026年度

団体受検の申込条件を検定日ごとに満たせば、同一回の複数検定日にお申し込みいただけます(検定問題は検定日ごとに異なります)。例)2026年度 第2回検定 10月23日(金)10名 11月6日(金)10名

	検定日	受付開始日	申込締切日(協会必着)		会場	検定級	
			郵送	インターネット			
団体受検	第1回	2026年 4月1日(水)	2026年 6月12日(金)	2026年 5月14日(木)	2026年 5月18日(月)	準会場	2~10級
			2026年 6月21日(日)★	2026年 4月14日(火)		公開会場	1~10級
			2026年 6月27日(土)	2026年 5月21日(木)	2026年 5月25日(月)	準会場	2~10級
			2026年 7月10日(金)	2026年 5月28日(木)	2026年 6月1日(月)	準会場	2~10級
	第2回	2026年 7月1日(水)	2026年 8月20日(木)	2026年 7月21日(火)	2026年 7月24日(金)	準会場	2~10級
			2026年10月18日(日)★	2026年 8月3日(月)		公開会場	1~10級
			2026年10月23日(金)	2026年 9月14日(月)	2026年 9月16日(水)	準会場	2~10級
			2026年10月24日(土)	2026年 9月17日(木)	2026年 9月25日(金)	準会場	2~10級
			2026年11月6日(金)	2026年 9月24日(木)	2026年 9月28日(月)	準会場	2~10級
	第3回	2026年 11月1日(日)	2027年 1月22日(金)	2026年12月17日(木)	2026年12月22日(火)	準会場	2~10級
			2027年 1月30日(土)	2026年12月24日(木)	2027年 1月4日(月)	準会場	2~10級
			2027年 2月5日(金)	2027年 1月5日(火)	2027年 1月8日(金)	準会場	2~10級
2027年 2月14日(日)★			2026年 11月30日(月)		公開会場	1~10級	
			2027年 1月14日(木)	2027年 1月18日(月)	準会場	2~10級	

- ・いかなる場合も同一級は同一時間に実施してください(同じ級を複数の時間で実施することはできません。併願者がある場合は、時間の設定にご注意ください)。
- ・日曜日(★の日程)に準会場受検を実施する場合の検定時間は、公開会場の検定時間に準じて実施してください。
- ・準会場のお申し込みには「準会場規程」(P.5)の遵守を誓約する必要があります。

各級の程度・合格基準・検定時間・検定料

変更点

級	レベル・対象漢字数	級の目安	合格基準	検定時間	準会場検定料(PBT)	公開会場検定料(PBT)
1級	大学・一般程度(約6,000字)	※1級・準1級は、公開会場(PBT)でのみ実施	200点満点 80%程度	60分	/	6,700円
準1級	大学・一般程度(約3,000字)		200点満点 80%程度	60分		6,200円
2級	高校卒業・大学・一般程度(2,136字)	常用漢字が全て読み書き活用できるレベル	200点満点 80%程度	60分	4,200円	5,200円
準2級	高校在学程度(1,951字)	高校生	200点満点 70%程度	60分	3,200円	4,200円
3級	中学校卒業程度(1,623字)	中学生	200点満点 70%程度	60分	3,200円	4,200円
4級	中学校在学程度(1,339字)		200点満点 70%程度	60分	3,200円	4,200円
5級	小学校6年生修了程度(1,026字)	小学生	200点満点 70%程度	60分	2,700円	3,700円
6級	小学校5年生修了程度(835字)		200点満点 70%程度	60分	2,700円	3,700円
7級	小学校4年生修了程度(642字)		200点満点 70%程度	60分	2,700円	3,700円
8級	小学校3年生修了程度(440字)		150点満点 80%程度	40分	2,200円	3,200円
9級	小学校2年生修了程度(240字)		150点満点 80%程度	40分	2,200円	3,200円
10級	小学校1年生修了程度(80字)		150点満点 80%程度	40分	2,200円	3,200円

※検定料は税込。

※団体公開会場受検には公開会場検定料(PBT)を適用します。

準会場受検の流れ

2級～10級の準会場での志願者が合計 **10名** 以上必要

事前準備

P.2

検定期 約2か月前より

P.7



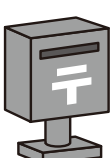
検定期 約1か月前

P.7

①検定日を決める

まずは漢検実施日を決定します。 ※協会が定めた検定日以外で実施することはできません。
検定日によって、実施可能時間が異なりますのでご注意ください。

②志願者を募集する

<p>おすすめ NEW</p> <p>インターネット申込 (志願者個別決済方式)</p> 	<p>インターネット申込 (団体一括決済方式)</p> 	<p>郵送申込</p> 
<p>①ポスターを掲示します。 団体内締切日は申込締切日前日の日付まで設定が可能です。</p> <p>②「団体専用ページ」にアクセスし、団体内締切日を設定のうえ、志願者に団体ごとに発行される申込用URLを配付します。</p> <p>「団体専用ページ」はこちらから▼ https://portal.kanken.or.jp/Dantai/Account/LogOn</p>	<p>①ポスターを掲示します。 申込情報の取りまとめが必要なため、団体内締切日は申込締切日の一週間前に設定することをおすすめします。</p> <p>②受検案内と検定料納入袋を配付し志願者から回収・集金します。</p>	



募集に必要な資料や配付文書テンプレートをダウンロード、ご請求いただけます。

▼ダウンロード、ご請求はこちらから



一般受検者の受け入れにご協力いただいている準会場を漢検ホームページで紹介する「地域開放型準会場」もございます。掲載団体は随時募集しております。

詳しくはこちらをご覧ください。▶



③申し込む

検定日の約1か月前が申込締切日です。



必ず申込締切日に間に合うようにお申し込みください。

<p>おすすめ NEW</p> <p>インターネット申込 (志願者個別決済方式)</p> 	<p>インターネット申込 (団体一括決済方式)</p> 	<p>郵送申込</p> 
<p>志願者自身が申込情報を入力の上、検定料の支払いを行います。</p> <p>団体内締切日の翌日に自動で志願者の申込情報が「団体専用ページ」に連携されて申込完了!</p> <p>→⑤へ</p>	<p>担当者が志願者の申込情報を取りまとめて、「団体専用ページ」からお申し込みください。ログインには会場番号・パスワードが必要です。</p> <p>「団体専用ページ」はこちらから▼ https://portal.kanken.or.jp/Dantai/Account/LogOn</p> <p>→④へ</p>	<p>申込書類を一括送付してください。</p> <p>申込締切日 必着</p> <p>→④へ</p>

※代理店を通してのお申し込みの場合、申込方法は各代理店へご確認ください。

検定日 約2週間前

P.9

④支払いをする

インターネット申込 (団体一括決済方式) 郵送申込

協会から検定料の「請求書兼払込取扱票」が届いたら、ゆうちょ銀行またはコンビニエンスストアで支払いをします(検定日の前日まで)。

※経理上の都合により検定日の前日までにお支払いができない場合は、本冊子表紙の「お問い合わせフォーム」からお知らせください。



※画像はイメージです。

検定日 数日前

P.12

⑤実施の準備をする

検定日 数日前

検定問題が届きます。到着後すぐ内容物に不足や不備がないか確認し、鍵のかかるところで厳重に保管します。



実施方法を詳しく記載した「準会場の手引き」を問題と一緒に送ります。当日までに必ずご一読ください。



検定日 前日まで

監督者を手配します。監督者は会場となる各部屋に、必ず1人以上配置してください。

検定日 前日

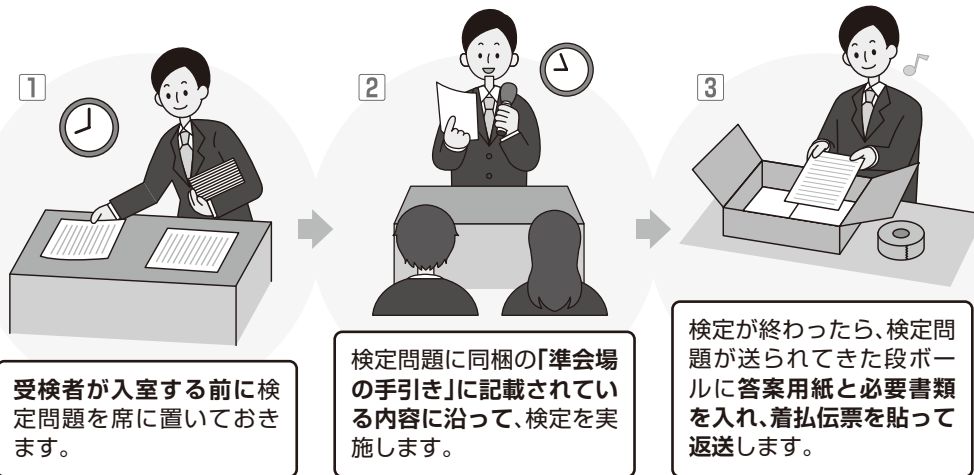
会場を準備します。漢字が使用されている掲示物は隠します。

検定日 当日

P.13

⑥検定を実施する

当日の流れ



検定日 約1か月後

P.14

⑦結果を返却する

WEB可否結果公開	検定日約25日後
検定結果資料と標準解答のお届け	検定日30~35日後

※WEB可否結果は「団体専用ページ」からご確認ください。
※結果資料発送までの日数はあくまで予定ですので前後する場合があります。

受検者全員に!

一人ひとりの頑張った成果が形に!



(冊子/A4サイズ)

日本漢字能力検定 準会場規程

2024年1月31日改定

この規程(以下、本規程)は、公益財団法人 日本漢字能力検定協会(以下、協会)が主催する日本漢字能力検定(以下、検定)の「準会場」受験について、その基本的事項を定めることにより、検定の厳正さ・公平さを保つことを目的としています。

団体責任者および実施責任者は、準会場での検定実施にかかる一切の責任を負うこととなります。実施責任者は本規程に従い、厳正かつ公平に検定を実施してください。協会関係者が全国より任意に選出した準会場を訪問し、実施状況などについて確認することがあります。本規程に違反した場合は、当該準会場の受験者全員を失格とします。また、協会が主催するすべての検定について、準会場の認定を取り消すことや、悪質な場合には協会が法的手段を講じることがあります。

第1章 準会場について

1. 準会場の定義

- 本規程における「準会場」とは、次を指します。
 - 学校教育法に定める学校(専修・各種学校を含む)、各省市庁の学校および官公庁
 - 前号以外の団体に、協会に準会場設置申請をして承認を得たもの

2. 準会場の要件

- 「準会場」として協会が認定するためには、申請団体が以下の要件を備えることを必要とします。
 - 検定実施に適した会場(教室・部屋)を自ら用意できること
 - 団体責任者および実施責任者、その他検定受験人数に応じた監督者等を用意できること
 - 検定を厳正に運営できる体制が整っていること
 - 団体責任者および実施責任者は成人であること(学生不可)
 - 本規程の遵守を誓約できること
 - 検定申込の際に、その条件である人数以上の志願者を集められること
 - 検定志願者募集に際しては、関係者からの問い合わせに対応できること
 - その他、協会の指示・通知等を遵守できること

3. 準会場の遵守義務

- 「準会場」は、以下の事項を遵守する必要があります。
 - 本規程に従い、厳正かつ公平な検定運営を行うこと
 - 検定志願者募集に際しては、準会場であることを明確にし、公開会場であるとの誤認を招かないよう努めること

4. 準会場認定の取り消し

- 協会は、準会場が以下の事項に該当する場合、その認定を取り消すことがあります。
 - 準会場より認定取り消しの申し出があったとき
 - 本規程に違反する行為が認められたとき
 - 検定料の支払いを遅滞し、督促したにも関わらずこれに応じないとき
 - 準会場設置申請の内容に虚偽の記載があったとき
 - 反社会的勢力との関わりが判明したとき
 - その他、準会場実施を継続するうえで好ましくない行為と協会が判断し、改善を求めたにも関わらずこれに応じない、もしくは改善されないとき

5. 個人情報の取り扱い

- 実施責任者は検定に関する個人情報については、適正に管理し、漏洩などの問題が生じた場合には、その一切の責任を負うこととなります。
 - 団体受験において得た個人情報(合否結果、成績など)を利用する(合格者一覧の掲示、合格級を内申書に記入する、検定結果を進路指導に利用する等)場合は、その利用内容について志願者(16歳未満の場合は志願者および保護者)の同意を得なければなりません。

第2章 準会場実施について

1. 検定日

- 問題用紙、答案用紙に記載された検定日以外に実施してはなりません。いかなる例外も認められません。

2. 検定実施時間

- 検定は次の時間で行ってください。2~7級:60分間、8~10級:40分間
- 遅刻した受験者も他の受験者と同じ時刻に終了しなければなりません。また、検定開始後30分(8~10級は20分)未満の途中退室者は棄権(答案は無効)となります。(詳細は、「6. 遅刻者と棄権者への対応」を参照)
- 同一級を複数の時間帯に分けて実施することは認められません。併願者がいる場合であっても、同一級の受験者は、開始時刻と終了時刻を合わせてください。また、複数会場で実施する場合も、同一級は同一時間に実施してください。
- 開始時刻は以下のとおり設定してください。

<平日と土曜日の検定>

開始時刻は問いません。

<日曜日の検定>

公開会場と同一の問題を使用するため、下記の検定時間に準じて実施してください。ただし、許容範囲内(2~7級は公開会場の検定開始時刻より前後60分間、8~10級は前後40分間)において、開始時刻を調節することは可能です。

公開会場(日曜日)の 検定時間	8,9,10級	10:00~10:40(40分)
	2,7級	11:50~12:50(60分)
	準2,4,6級	13:40~14:40(60分)
	3,5級	15:30~16:30(60分)

例:2級は10:50~12:50の間に開始すること
8級は9:20~10:40の間に開始すること

3. 受験級

- いかなる場合も、同一人物が同一検定日に同一級を重複して受験してはいけません。受験した場合はいずれも失格とします。実施責任者は申込時に重複受験者がいないことを確認してください。ただし同一回の検定であっても、検定日や級が異なる場合は受験可能です。
 - 例:一人の受験者が、同じ検定日に違う準会場で3級を2回受験することは認められません。
- いかなる場合も、同一人物が同一検定日・同一時間に複数級を受験してはいけません。受験した場合はいずれも失格とします。併願者がいる場合は、級ごとに検定実施時間を分けてください。(詳細は、「2. 検定実施時間」を参照)
 - 例:一人の受験者が、同じ検定日の同じ時間帯に3級と4級を受験することは認められません。

4. 会場・監督の手配、準会場規程の理解

- 検定の実施に適切な会場の手配をしてください。
 - 1教室につき1名以上の監督者を配置してください。
 - 実施責任者以外に監督者が必要な場合はその手配をしてください。
 - 監督者全員が本規程と「準会場の手引き」を熟読し、あらかじめ検定実施の流れと要点を理解したうえで、厳正かつ公平に検定を実施してください。
 - 監督を含め、検定問題の受け取りから答案返送までの一連の作業に関わる方は検定を受験することができません。
 - 事前に協会の承認を得た場合を除き、会場には監督者および受験者以外の入室は認められません。

5. 不正行為の防止

- 受験者が以下のような不正と疑わしき行為を行わないよう、厳重に監視してください。
 - 検定開始前に問題用紙・答案用紙に手を触れる行為
 - 携帯電話・スマートフォン(スマートウォッチ含む)やその他電子機器類の使用
 - 参考書、問題集などの閲覧
 - 荷物に手を触れる行為
 - 監督者の指示に従わない行為
 上記の行為を行った者には注意を促し、指示に従わない場合や繰り返し行う場合は退場させ、失格としてください。また、明らかに不正行為が認められる場合はすぐに退場させ、失格としてください。なお、不正行為が検定日後に判明した場合は協会に連絡してください。

6. 遅刻者と棄権者への対応

<遅刻者への対応>

- 検定開始後30分(8~10級は20分)までに到着した者には、検定残り時間での受験を許容してください。30分(8~10級は20分)経過後に到着した者は検定会場に入室させず欠席としてください。遅刻で開始時刻が遅れた受験者も、ほかの受験者と同じ時刻に終了させてください。

<棄権者への対応>

- 検定開始後30分(8~10級は20分)未満の途中退室者は棄権とし、答案は無効としてください。ただし体調不良等考慮すべき点が大い場合は棄権とせず、答案は有効とし、退室を許可してください。再入室はできません。

7. 検定料

- 協会が公式WEBサイト等で公開する申込締切後の欠席者・失格者・棄権者に対する返金や申し込みの取り消しは、入金の有無に関わらず、いかなる理由であっても行いません。
- 検定料の払い込みが確認できない場合、検定結果資料の発送やWEB合否結果の公開、次の検定申請ができません。

8. 問題用紙と答案用紙の取り扱い

<取り扱い・保管>

- 問題用紙、答案用紙は検定日までに受け取ってください。
 - 問題用紙、答案用紙、その他の送付物は到着後に枚数と内容を確認し、確認後は検定開始まで、問題の内容(出題形式を含む)について一切漏洩が無いよう鍵のかかる場所で厳重に保管してください。
 - 送付した答案用紙以外(コピーした答案用紙や他の会場番号・団体名が印字された答案用紙など)や、他の受験者の氏名・生年月日が印字された答案用紙で解答することはできません。万一解答されても無効となり、採点することはできません。
 - 問題の漏洩防止のため、検定終了後、問題用紙は必ず回収し、検定日の翌日以降に受験者に返却してください。
 - 協会の許可なく問題用紙、答案用紙を複製することはできません。

<返送>

- 受験者全員の答案用紙がそろっていることを必ず確認し、その他返送の必要な書類とともに漏れなく検定日当日または遅くとも翌日中に返送してください。連絡がなく遅れた場合、返送された答案を無効と判断することがあります。また、答案用紙を回収、返送するまでの間、解答内容に一切手を加えてはなりません。

9. 天災などの緊急時

- 地震や火災などの緊急事態が発生した場合は、受験者を安全な場所へ速やかに避難させた後、協会に問い合わせ、指示に従ってください。
- 検定日当日、休校や学級閉鎖により検定の実施が困難になった場合は、それが決定した時点で協会に問い合わせ、指示に従ってください。

10. 検定結果資料の取り扱い

- 団体受験の検定結果資料はすべて申込団体へ発送します。すみやかに受け取り、受験者全員にもれなく配付してください。

以上

検定に関する補足<すべての曜日に共通>

(図1)2級受検者が2名

[Aくん・Bさん]いる場合。



同一級を
複数の時間帯に分けて
実施してはいけません。
(規程第2章第2条より)

検定に関する補足<日曜日の検定のみ>

(図2)検定開始許容時間

日曜日の検定は、公開会場の検定時間に準じて実施してください。ただし、許容範囲内において、開始時刻を調節することは可能です。(規程第2章第2条より)

受検級	公開会場の検定時間(←→の部分)	開始時刻の許容範囲(■の部分)
★ 8級/9級/10級	10:00~10:40(40分)	9:20~10:40の間に開始
2級/7級	11:50~12:50	10:50~12:50の間に開始
準2級/4級/6級	13:40~14:40	12:40~14:40の間に開始
3級/5級	15:30~16:30	14:30~16:30の間に開始

←→ 公開会場実施時間 ■ 開始時刻の許容範囲

検定級	検定時間	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
2級	60分間			11:50 ←→					
準2級	60分間				12:40 ←→	13:40 ←→			
3級	60分間						14:30 ←→	15:30 ←→	
4級	60分間				12:40 ←→	13:40 ←→			
5級	60分間						14:30 ←→	15:30 ←→	
6級	60分間				12:40 ←→	13:40 ←→			
7級	60分間			11:50 ←→					
8級	40分間	9:20 ←→	10:00 ←→						
9級	40分間	9:20 ←→	10:00 ←→						
10級	40分間	9:20 ←→	10:00 ←→						

(例1)2級の検定時間

○11:30に一齐に開始し、12:30に終了する
×13:00に一齐に開始し、14:00に終了する
(2級の検定開始時刻は10:50~12:50のため、13:00に開始することは不可)

(例2)3級と4級を同時に実施する場合

○14:30に一齐に開始し、15:30に終了する
×15:00に一齐に開始し、16:00に終了する
(4級の検定開始時刻は12:40~14:40のため、15:00に開始することは不可)

許容時間についてのご不明点は協会までお問い合わせください。

日本漢字能力検定(漢検PBT)受検規約

受検を申し込まれる皆さまへは、「日本漢字能力検定(漢検PBT)受検規約」の適用があることを同意のうえ、受検の申し込みをすようご案内ください。受検規約全文は協会の公式サイトでご確認いただけます。

●本規約の変更

協会は本規約を予告することなく変更することがあります。当該変更については、協会の公式サイトまたは協会発行の各媒体に掲載された時点より効力が生じるものとします。

受検規約はこちらから▶
<https://www.kanken.or.jp/kanken/kiyaku/>








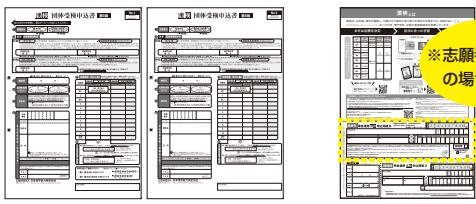
申し込みについて

※団体公開会場受検の申し込みは P.15 へ

「準会場規程」(P.5)の遵守を誓約し、下記3つのうちから1つだけ選択し、申し込む(締切日必着)

注意

- ・申込締切日を厳守してください。締切日を過ぎて到着したものは受け付けできません。
- ・複数の団体や教室を取りまとめてお申し込みされる場合は、お手続きがごさいます。詳しくは協会までお問い合わせください。
- ・どのようなご事情があっても、申込締切日翌日以降の内容変更はできません。
- ・FAX申込は廃止いたしました。**変更点**

	手順	特長
<p>NEW おすすめ /</p> <p>インターネット申込 (志願者個別決済方式)</p> 	<p>①「団体専用ページ*」にアクセスし、団体内締切日を設定のうえ、志願者に団体ごとに発行される申込用URLを配付します。</p> <p>②志願者自身が申込用URLにアクセスし、申込情報を入力のうえ、検定料の支払いを行います。</p> <p>*「漢検HP>団体ご担当者様へ」からアクセスしてください (https://portal.kanken.or.jp/Dantai/Account/LogOn)。 「インターネット申込手順マニュアル」のダウンロードもできます。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●志願者からの申込用紙の回収や検定料の集金が不要です。 ●団体内締切日を設定すれば、あとは自動で志願者の申込情報が「団体専用ページ」に連携され、申込完了することが可能です。 ●必要に応じて、担当者に志願者の申し込み・支払状況を確認できます。 ●検定料控除制度(検定運営手数料、申込代行手数料)の対象です。(P.9を参照) ●繰越権利も志願者自身で利用可能です。
<p>インターネット申込 (団体一括決済方式)</p> 	<p>①「団体専用ページ*」にアクセスし「団体受検申込」から担当者が志願者の申込情報を取りまとめて、お申し込みください。</p> <p>②検定日の約2週間前に届く「請求書兼払込取扱票」にて担当者が検定料を取りまとめてお支払いください。</p> <p>*「漢検HP>団体ご担当者様へ」からアクセスしてください (https://portal.kanken.or.jp/Dantai/Account/LogOn)。 「インターネット申込手順マニュアル」のダウンロードもできます。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●締切日当日まで申し込みができます。 ●締切日当日まで担当者にて申込内容を変更できます。 ※いずれも日付が変わる前に申し込みを変更・完了させてください。 ●検定料控除制度(検定運営手数料、申込代行手数料)の対象です。(P.9を参照)
<p>郵送申込</p>  <p>協会締切日必着</p>	<p>①申込必要書類を郵便または宅配便で一括送付してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●団体受検申込書 No.1・2 ●志願者全員分の協会行準会場用申込紙B <p>※志願者情報「有」の場合のみ</p>  <p>②検定日の約2週間前に届く「請求書兼払込取扱票」にて担当者が検定料を取りまとめてお支払いください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●志願者から申込用紙、必要に応じて検定料を集める必要があります。 ●検定料控除制度は検定運営手数料のみが対象です。 ※申込代行手数料はインターネット申込選択時のみ発生します。 <p>送付先 協会本部(京都)</p> <p>※送料は団体負担です。封筒の表に「団体受検申込」と明記してください。</p>

申込受領状況の確認方法 ※申し込んだ検定日が合っているか必ずご確認ください。

●「**団体専用ページ**」で確認

郵送で申し込む場合は、協会に申し込みが到着した翌営業日以降に団体専用ページで申込受領状況を確認することができます。また、申込締切日の約2週間後には志願者情報も確認できるようになります。

「申込受付完了のお知らせ」は全団体の申込受付が完了しましたら、漢検ホームページの「お知らせ」でご案内いたします(申込締切日の2週間後)。

※FAXによる申込受付完了のお知らせはございません。

受領済と表示されます

会場	準会場	準会場
検定日	2020/10/31(土)	2020/02/08(土)
申込締切日	2020/10/05(月)	2020/01/08(水)
申込受領状況	受領済	受領済
請求書発送予定日(※1)	2020/10/14(水)	2020/01/23(木)
突検票発送予定日		
開票発送予定日(国内会場)	2020/10/26(月)	2020/02/03(月)
開票受領日	2020/11/02(月)	2020/02/12(水)
標準解答公開予定日	2020/11/05(木)	2020/02/13(木)
請求書(追加)発送予定日(※2)	2020/11/28(土)	2020/03/04(水)
合格結果公開予定日時	2020/11/27(金) AM 10:00 ~	2020/03/03(火) AM 10:00 ~
検定結果資料・標準解答発送予定日(国内会場)	2020/12/04(金)	2020/03/09(月)

志願者情報の有無について

※どちらを選択しても検定結果資料は同じものです。

インターネット申込
(団体一括決済方式)

郵送申込



志願者の中に繰越者*が含まれる場合は、志願者情報「有」を選んでください。

*繰越者とは、以前の実施の際に特別欠席(P.18)を申請し、承認された欠席者のことです。
繰越者を含むお申し込みの場合はP.11をご覧ください。

**志願者情報
「有」**

検定前の準備・当日の実施が簡単です!

申し込みに必要な情報 級別志願者数・全志願者の「受験級」「氏名」「フリガナ」「生年月日(西暦)」「性別(※任意)」

■志願者の「氏名」「生年月日(西暦)」が、あらかじめ答案用紙に印字されます。
※他人の答案用紙を使用して受験することはできません。万一、別の方が受験された場合、その答案は無効となり採点ができません。

■問題送付時に受験者の名簿をお届けします。受験者の出欠確認等にご活用ください。

●受験者名簿(級別)

学年・組に関わらず、受験級ごとに受験番号順で出力されます。

受験級	番号	受験者氏名	出欠	備考	受験級	番号	受験者氏名	出欠	備考
2級	200001	赤井 太郎			準2級	210001	青井 三郎		
2級	200002	伊藤 花子			準2級	210002	今井 桃子		
2級	200003	上田 次郎			準2級	210003	植木 菊子		
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

※並びのイメージ

志願者が合計30名以上かつご希望の団体様におのみ、以下の名簿も一緒にお送りします。

●クラス単位の受験者名簿

学年・組・受験級ごとに受験番号順で出力されます。

※学年・クラスは、アルファベット(大文字・小文字)と数字で区別されます。高校生と中学生が一緒に申し込みの場合などは学年の前にアルファベットをつけることで区別をしてください。

受験級	番号	受験者氏名	出欠	備考	受験級	番号	受験者氏名	出欠	備考
(3-1)					(3-2)				
2級	200001	赤井 太郎			2級	200003	上田 次郎		
2級	200002	伊藤 花子			2級	200004	江藤 桜子		
⋮					⋮				

※並びのイメージ

クラス単位の受験者名簿を「希望する」場合、検定結果資料はクラスごと、受験級ごと、受験番号順(昇順)に梱包してお届けします。

**志願者情報
「なし」**

申込準備が簡単です!

申し込みに必要な情報 級別志願者数

■志願者の「氏名」「生年月日(西暦)」等は、検定当日に受験者が答案用紙に記入します。
※検定結果通知や合格証書等の氏名は、受験者が答案用紙に記入した情報をもとに印字します
(ひらがなや略字で書かれた場合でも、そのまま印字します)。

※氏名の漢字についてのおことわり

答案用紙や検定結果資料への氏名の印字にはJIS2004第1・第2水準の漢字と人名用漢字を使用しています。そのため、その他の漢字が氏名に含まれている場合は答案用紙への氏名の印字はできず、空白や「●」に置き換えています(検定結果資料は記載のとおり印字します)。当日正しく書き直してください。書き直す際の詳しい記入方法は、問題・答案用紙に同梱している「準会場の手引き」をご確認ください。

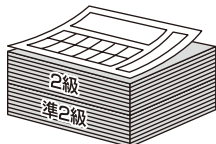
受験番号の振り方について

受験番号の振り方は申込方法により異なります。

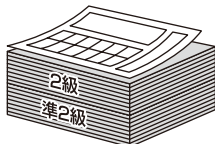
- インターネット申込(志願者個別決済方式)
受験級ごとに志願者がお申し込みされた順(団体内締切日翌日以降、協会の定める申込締切日までは団体専用ページの申込画面上で並べ替えが可能)
- インターネット申込(団体一括決済方式)
団体専用ページの申込画面での受験級ごとの入力順(申込締切日までは画面上で並べ替えが可能)
- 郵送申込
通常: 受験級ごとに、男女混合の五十音順
クラス単位の受験者名簿を希望する場合: 受験級ごとに、クラスごと、男女混合の五十音順

問題・答案用紙の梱包順序について ~志願者情報「有」申込の場合~

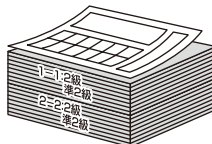
志願者30名未満の場合
受験級ごと、受験番号順(昇順)に梱包



志願者30名以上かつクラス単位の名簿を「希望する」場合*
「受験級ごと、受験番号順(昇順)に梱包」もしくは「クラスごとに、受験級ごと、受験番号順(昇順)に梱包」



もしくは



※申込時に選択してください。
※1クラス分が2~7級と8~10級で分かれています。

検定料の支払いについて

インターネット申込
(団体一括決済方式)

郵送申込

申込時の級別人数、検定運営手数料・申込代行手数料の希望状況をもとに団体ごとの請求額を算出し、検定日の約2週間前に「三井住友カード株式会社 決済ステーション 払込票発送担当」より請求書兼払込取扱票(専用の払込票)をお送りします。金額をご確認のうえ、検定日前日までに払い込んでください。金額に誤りがある場合は、早急に協会までご連絡ください。**請求書兼払込取扱票はゆうちょ銀行またはコンビニエンスストアでご利用いただけます。**

※請求書兼払込取扱票(専用の払込票)での検定料の支払いが困難な場合や、団体内での検定料や控除金の取り扱いについてお困りの場合は、P.10もしくは漢検ホームページの「よくある質問」をご確認ください。

検定料控除制度について **変更点**

団体の経費負担を補助する検定料控除制度があります(志願者から検定料を割引いて集金することは不可)。

● **通常は、検定料総額から検定運営手数料と申込代行手数料を差し引いてご請求いたします。**

※郵送申込の場合は申込代行手数料の適用外。

・**検定運営手数料**: 申込手続や検定日当日の運営費用

新規志願者数	10~19	20~29	30~49	50~79	80~109	110~139	140~169	
検定運営手数料	4,000	8,000	10,000	12,000	15,000	20,000	25,000	
新規志願者数	170~199	200~229	230~259	260~289	290~319	320~349		以下30名増すごとに10,000円増
検定運営手数料	32,000	39,000	46,000	53,000	63,000	73,000		

※新規志願者数とは繰越者を除いた新たな受験申込者数をいいます。(繰越者につきましてはP.11をご確認ください)
 ※団体公開会場受験については検定日当日の運営が発生しないため半額とします。
 ※準会場と団体公開会場の両方でお申し込みの場合は、それぞれに対して検定運営手数料を算出します(準会場と団体公開会場の新規志願者数を合算して算出することはできません)。

・**申込代行手数料**: インターネット申込時の情報データ化への協力に対する費用
 検定運営手数料の15%(インターネット申込かつ志願者情報「有」申込の場合は20%)※郵送申込は適用外

計算方法

$$\text{検定料総額 (新規志願者から集金)} - \left(\begin{array}{l} \text{検定運営手数料 (A)} \\ \text{※上表参照} \end{array} \right) + \left(\begin{array}{l} \text{申込代行手数料 ※郵送申込は適用外} \\ \text{・インターネット申込の場合: (A)の15\%} \\ \text{・インターネット申込かつ志願者情報「有」申込の場合: (A)の20\%} \end{array} \right) = \text{請求額}$$

計算例(準会場実施の場合)

(例1) 新規志願者3級(3,200円)10名・インターネット申込・志願者情報「有」申込/検定運営手数料・申込代行手数料を差し引いて支払う場合

$$\text{検定料総額 } 32,000\text{円} \text{ (3,200円} \times 10\text{名)} - \left(\begin{array}{l} \text{検定運営手数料 } 4,000\text{円} \\ \text{+ 申込代行手数料 } 800\text{円} \\ \text{(4,000円} \times 20\%) \end{array} \right) = \text{請求額 } 27,200\text{円}$$

(例2) 新規志願者3級(3,200円)10名・インターネット申込・志願者情報「なし」申込/検定運営手数料・申込代行手数料を差し引いて支払う場合

$$\text{検定料総額 } 32,000\text{円} \text{ (3,200円} \times 10\text{名)} - \left(\begin{array}{l} \text{検定運営手数料 } 4,000\text{円} \\ \text{+ 申込代行手数料 } 600\text{円} \\ \text{(4,000円} \times 15\%) \end{array} \right) = \text{請求額 } 27,400\text{円}$$

(例3) 新規志願者3級(3,200円)10名・郵送申込・志願者情報「なし」申込/検定運営手数料・申込代行手数料を差し引いて支払う場合

$$\text{検定料総額 } 32,000\text{円} \text{ (3,200円} \times 10\text{名)} - \left(\begin{array}{l} \text{検定運営手数料 } 4,000\text{円} \\ \text{+ 申込代行手数料 } 0\text{円} \end{array} \right) = \text{請求額 } 28,000\text{円}$$

(例4) 新規志願者3級(3,200円)9名、繰越者3級1名の計10名・インターネット申込・志願者情報「有」申込/検定運営手数料・申込代行手数料を差し引いて支払う場合

$$\text{検定料総額 } 28,800\text{円} \text{ (3,200円} \times 9\text{名)} - \left(\begin{array}{l} \text{検定運営手数料 } 0\text{円} \\ \text{+ 申込代行手数料 } 0\text{円} \end{array} \right) = \text{請求額 } 28,800\text{円}$$

● **検定料総額での支払いを選択することもできます。**

「インターネット(団体一括決済方式)」・「郵送申込」の場合は、検定運営手数料・申込代行手数料が団体に残るよう請求します。尚経費が不要の場合は、申込時に「検定料総額を支払う」にチェックをしてください。

※申込締切日翌日以降に欠席が判明した場合も検定料が発生します。また、払い込まれた検定料は返金できません。

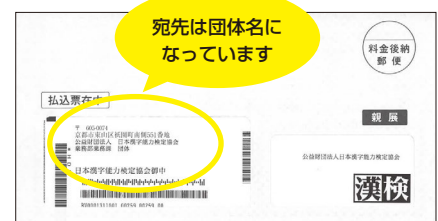
※請求書兼払込取扱票に記載されている口座は請求書兼払込取扱票利用のための専用口座です。**協会からお送りする請求書兼払込取扱票を使用せずに専用口座に入金することはできません。銀行振込をご希望の場合はP.10のQ.3をご確認ください。**

※請求書兼払込取扱票に印字されている金額は担当者の判断で訂正しないでください。

※検定料の払い込みが確認できない場合、WEB可否結果の公開や検定結果資料の発送ができません。

※法令により、ゆうちょ銀行で10万円を超える払い込みには団体の証明書類が必要となります。

※コンビニエンスストアでは30万円を超える払い込みができません。ゆうちょ銀行から払い込んでください。



請求書兼払込取扱票 送付封筒(イメージ)

インターネット申込
(志願者個別決済方式)

の場合

申込時には自動的に検定料総額での支払いとなりますが、担当者からのご申請により、控除金(検定運営手数料・申込代行手数料)を受け取ることが可能です。(P.10のQ.1をご確認ください)。

よくある質問

Q.1 検定料控除制度の検定運営手数料・申込代行手数料のいずれかのみ、または必要な経費分だけ控除金を受け取ることはできますか？

A

インターネット申込(団体一括決済方式) 郵送申込 の場合

WEB
フォームは
こちら

可能です。以下【ア】【イ】のいずれかの方法をご検討ください。

【ア】不要な控除金を返納する方法

- ①申込時に、「検定料総額を支払う」にチェックをしないで申し込む
 - ②検定日の約2週間前に届く請求書兼払込取扱票(専用の払込票)で、控除金を差し引いた請求額を支払う
 - ③検定終了後(必要な経費精算後)、不要な控除金を協会に返納(銀行振込)する
 - ④返納後1週間以内に、返納した金額をWEBフォームに入力し、協会へ提出する
- ※振込先はP.10のQ.3をご確認ください。

【イ】必要な経費を請求する方法

- ①申込時に、「検定料総額を支払う」にチェックをして申し込む
- ②検定日の約2週間前に届く請求書兼払込取扱票(専用の払込票)で、検定料総額を支払う
- ③WEBフォームから申請する
- ④請求した金額を受け取る

※請求可能な金額の上限は、控除金(検定運営手数料+申込代行手数料)から所定の手数料を差し引いた金額です。請求可能な金額が不明な場合は、協会までお問い合わせください。

※経費の請求は当年度中に限ります。第3回検定は当年度の3月末までに請求ください。

NEW

インターネット申込(志願者個別決済方式) の場合

ご申請により控除金を受け取ることが可能です。

- ①WEBフォームから申請する
- ②請求した金額を受け取る

※請求可能な金額の上限は、控除金(検定運営手数料+申込代行手数料)から所定の手数料を差し引いた金額です。請求可能な金額が不明な場合は、協会までお問い合わせください。

※経費の請求は当年度中に限ります。第3回検定は当年度の3月末までに請求ください。

Q.2

経理上、特別な書類が必要です。

- ・協会の公印が押印された請求書を発行してほしい
- ・(学年ごとなど)請求書を分けて発行してほしい
- ・見積書・納品書を発行してほしい

インターネット申込
(団体一括決済方式)

郵送申込

A

申込締切日までにWEBフォームからご申請ください。

ただし、発行方法や内容に制約事項がございますので、以下の「■発行可能な請求書について」をご確認ください。

WEB
フォームは
こちら

■発行可能な請求書について

	書面の様式	書面の種類	書面の制約事項	支払可能機関	手数料
①	任意の金額に分けた複数枚の請求書を発行	請求書兼払込取扱票(専用の払込票)のみ	・請求金額のみ記載(級ごとの内訳などの記載は不可) ・宛名・送付先の変更不可(申込団体名・問題送付先住所への送付) ・請求書発行日の指定不可	・コンビニエンスストア ・ゆうちょ銀行	「通常払込料金加入者負担(料金受取人負担)の払込取扱票(赤色)」の払込料金は協会負担
②	任意の内容を含む書面(級ごとの内訳など)を発行	・請求書(公印付) ・見積書(公印付) ・納品書(公印付)	なし(級ごとの内訳や請求金額のみの記載も可能)	・三菱UFJ銀行 ・みずほ銀行	団体にてご負担

Q.3

銀行振込で入金することはできますか？

インターネット申込
(団体一括決済方式)

郵送申込

A

ご入金いただけます。手数料は団体でご負担いただく旨をご了承ください。また、請求書をご確認のうえ、ご入金額にお間違いがないようご注意ください。

<振込の際の注意点>

必ず振込依頼人名欄に会場番号・登録団体名をご記入ください。

ご記入がない場合、振込元がわからず入金確認ができないことがあります。

振込先

金融機関名 : 三菱UFJ銀行 京都支店 □座名義 : (公財)日本漢字能力検定協会
 預金種別 : 普通預金 □座名義カナ : サイニホカヅ ノリウケンケンイカ
 □座番号 : 1428530

繰越者を含む申込方法

繰越者とは 以前の実施の際に特別欠席(P.18)を申請し、承認された欠席者のことです。最新の繰越者の情報は団体専用ページで確認することができます。

● 繰越者に関する注意事項

A. 繰越者の繰越条件	<ul style="list-style-type: none"> 繰越権利は、同一団体・同一検定内で受検する場合のみ有効です。個人受検への変更や会場番号が異なる団体で受検することはできません。 欠席した検定日と繰越受検を希望する検定日の協会締切日の期間が3週間以上あれば、検定回に関係なく繰り越せます。 																																																																			
B. 繰越者を含めて申し込む場合の注意点	<ul style="list-style-type: none"> 必ず志願者情報「有」でお申し込みください。繰越者を含め、10名以上の志願者が必要です。 繰越者は検定料控除制度の対象に含まれません。(例：新規志願者5名+繰越者5名の場合、控除金は0円です) 繰越権利を有する志願者を新規志願者として申し込みをした場合、申込締切日翌日以降は繰越者に変更することはできません。 																																																																			
C. 繰越者の検定料について	<ul style="list-style-type: none"> 「特別欠席が承認された級(当該検定において志願した級)」の検定料と「今回申し込む級」の検定料に差額がある場合は請求いたします。 ※2025年度以前に特別欠席制度で取得した繰越権利を利用し、申し込みをされる場合においても、検定料改定に伴う差額分の検定料請求が発生します。 「特別欠席が承認された級(当該検定において志願した級)」の検定料より、「今回申し込む級」の級の検定料が安価な場合、差額の返金はいたしません。 <p>例) 5級で繰越権利を取得し、今回4級を申し込む場合に生じる検定料</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">■ 準会場→準会場</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">今回申し込む級</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">■ 準会場→公開会場</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">今回申し込む級</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>準会場</td> <td>4級</td> <td>5級</td> <td>公開会場</td> <td>4級</td> <td>5級</td> <td></td> <td></td> <td>公開会場</td> <td>4級</td> <td>5級</td> </tr> <tr> <td></td> <td>準会場</td> <td>検定料</td> <td>3,200円</td> <td>2,700円</td> <td>準会場</td> <td>検定料</td> <td>4,200円</td> <td>3,700円</td> <td></td> <td>公開会場</td> <td>検定料</td> <td>4,200円</td> <td>3,700円</td> </tr> <tr> <td>特別欠席が承認された級</td> <td>4級</td> <td>3,200円</td> <td>なし</td> <td>なし ※返金はありません</td> <td>特別欠席が承認された級</td> <td>4級</td> <td>3,200円</td> <td>1,000円</td> <td>500円</td> <td>特別欠席が承認された級</td> <td>4級</td> <td>3,200円</td> <td>1,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5級</td> <td>2,700円</td> <td>500円</td> <td>なし</td> <td></td> <td>5級</td> <td>2,700円</td> <td>1,500円</td> <td>1,000円</td> <td></td> <td>5級</td> <td>2,700円</td> <td>1,000円</td> </tr> </table> <p>※「公開会場→公開会場」「公開会場→準会場」の場合は、漢検ホームページの「よくある質問」をご確認ください。</p>	■ 準会場→準会場		今回申し込む級				■ 準会場→公開会場		今回申し込む級						準会場	4級	5級	公開会場	4級	5級			公開会場	4級	5級		準会場	検定料	3,200円	2,700円	準会場	検定料	4,200円	3,700円		公開会場	検定料	4,200円	3,700円	特別欠席が承認された級	4級	3,200円	なし	なし ※返金はありません	特別欠席が承認された級	4級	3,200円	1,000円	500円	特別欠席が承認された級	4級	3,200円	1,000円		5級	2,700円	500円	なし		5級	2,700円	1,500円	1,000円		5級	2,700円	1,000円
■ 準会場→準会場		今回申し込む級				■ 準会場→公開会場		今回申し込む級																																																												
		準会場	4級	5級	公開会場	4級	5級			公開会場	4級	5級																																																								
	準会場	検定料	3,200円	2,700円	準会場	検定料	4,200円	3,700円		公開会場	検定料	4,200円	3,700円																																																							
特別欠席が承認された級	4級	3,200円	なし	なし ※返金はありません	特別欠席が承認された級	4級	3,200円	1,000円	500円	特別欠席が承認された級	4級	3,200円	1,000円																																																							
	5級	2,700円	500円	なし		5級	2,700円	1,500円	1,000円		5級	2,700円	1,000円																																																							

● 「インターネット申込」の場合

- 1 志願者情報選択の画面で、「志願者情報「有」」を選択してください。
- 2 操作方法については、「インターネット申込手順マニュアル」*をご確認ください。
*「漢検HP>団体ご担当者様へ>団体専用ページ」からアクセスしてください
(<https://portal.kanken.or.jp/Dantai/Account/LogOn>)。
「インターネット申込手順マニュアル」はダウンロードもできます。

● 「郵送申込」の場合

- 1 協会行 準会場用 申込用紙(B)の繰越者欄にチェックもしくは名簿の備考欄に「繰越者」と記入してください。
- 2 団体受検申込書の記入方法は、団体受検申込書内の「記入の手引き」⑦をご確認ください。

上記以外の箇所は通常の申し込みと同様です。

準会場における受検特別措置について

身体的な理由により通常の受検方法では受検が困難である志願者に対し、特別措置(答案用紙の白黒コピーや拡大コピー、問題用紙の拡大コピー、スキャナーやマークリーダを通さず答案用紙を直接見て採点するなど)を講じています。ただし、この措置により採点基準が変わることはありません。

この特別措置による受検を希望する場合は、該当検定日の申込締切日までに申請をする必要があります。

申請方法など詳細は協会までお問い合わせください。

実施について

問題・答案用紙の到着

検定日の数日前までに問題・答案用紙をお届けします。**到着後すぐに内容物を確認し、不足や不備があれば至急協会までご連絡ください。**また検定日当日までに「準会場の手引き*」をご一読ください。準会場規程をはじめ、検定運営に関する大切な内容が記載されています。

指定の宅配業者への答案返送の集荷依頼は可能な限り検定日前日までに行ってください。

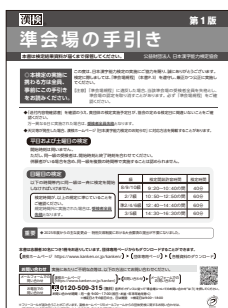
※「準会場の手引き」は事前に団体専用ページからダウンロードできます(最新版は各回最初の検定日の約2週間前から閲覧可能です)。

送付内容

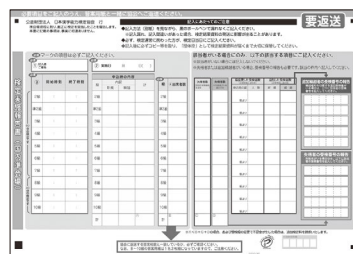
《梱包順》

- 答案用紙返送用 着払伝票
- 送付内容物確認書
- 準会場の手引き(志願者30名につき1冊)
- 受検者名簿(級別)(志願者情報「有」申込の場合のみ)
- クラス単位の名簿(志願者情報「有」、準会場30名以上でお申し込みかつご希望の団体のみ)
- 検定実施報告書
- 8~10級氏名・生年月日訂正申請書(志願者情報「有」申込かつ8~10級志願者がいる団体のみ)
- 申し込みをした人数分の問題・答案用紙
- 予備の問題・答案用紙

▼準会場の手引き



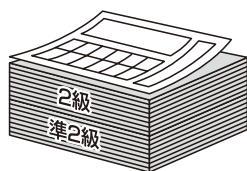
▼検定実施報告書



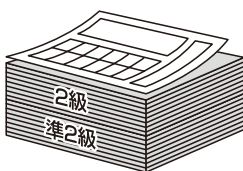
※画像はすべてイメージです。

問題・答案用紙の梱包順序について ~志願者情報「有」申込の場合~ * 受験番号の振り方はP.8をご覧ください。

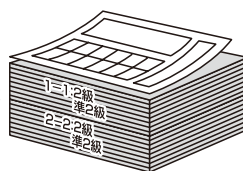
志願者30名未満の場合
受験級ごと、受験番号順(昇順)に梱包



志願者30名以上かつクラス単位の名簿を「希望する」場合*
「受験級ごと、受験番号順(昇順)に梱包」
もしくは「クラスごとに、受験級ごと、受験番号順(昇順)に梱包」



もしくは



※申込時に選択してください。
※1クラス分が2~7級と8~10級で分かれています。

予備の問題・答案用紙について

答案用紙の破損、申込漏れや間違いなどの不測の事態に備えて、予備の答案用紙を同梱しています。同梱する予備の枚数は志願者数によって決まっています(右表参照)。

他人の答案用紙や会場番号の異なる予備の答案用紙を使用した場合、無効答案とみなし失格となります。ご注意ください。

志願者の追加や受験級の変更がある場合は漢検ホームページの「よくある質問」をご確認ください。

なお、志願者の追加や受験級の変更により発生した検定料は控除制度(P.9)の適用外です。

変更点

● 志願者数と予備枚数の対応表(級ごと)

志願者数	予備枚数
0~1名	1枚
2~10名	2枚
11名以上	3枚

● 送付例

級	志願者数	予備枚数
2級	0名	1枚
準2級	0名	1枚
3級	22名	3枚
4級	11名	3枚
5級	8名	2枚
6級	1名	1枚
7級	0名	1枚

⋮



検定実施

検定日当日の、受検者への説明は「準会場の手引き」に沿って省略せずに行ってください。

「準会場規程」(P.5)を遵守してください。違反した場合は当該準会場の受検者全員を失格とし、協会が主催するすべての検定の準会場認定を取り消すことがあります。

※特に以下の項目にご注意ください。

- 1 申し込んだ検定日[※]を遵守してください。いかなる例外も認められません。
※問題用紙・答案用紙に記載された検定日
- 2 同一級の受検者は、開始時刻と終了時刻を合わせてください。
- 3 日曜日の検定は、公開会場の検定時間に準じて実施してください。
- 4 問題の漏洩防止のため、検定終了後、問題用紙は必ず回収し、検定日の翌日以降に受検者に返却してください。※検定終了後は、問題・答案用紙をそれぞれ回収してください。
(注意: 受験の様子などをホームページ等に掲載される場合、問題の漏洩防止のため、検定問題と分かる画像等の公表は行わないでください。)

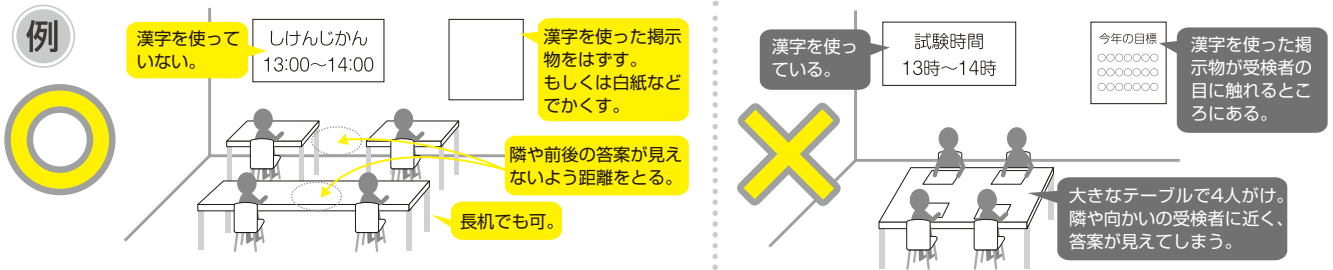
<会場設営時の注意点>

他の受検者の答案が見えないよう距離をとるとともに、漢字を使った掲示物など検定の実施にふさわしくないものがある場合は、はずしていただくか上から模造紙を貼るなど、受検者の目に触れないようにしてください。

また、受検者が検定に集中できるよう静かな環境設定を心がけてください。

※他の受検者への影響が大きいと予測される受検者には、別会場(教室)を用意するなどの配慮をお願いします。

※団体で取り組まれている感染症予防対策に応じた座席の設定をお願いします。



答案用紙を検定当日中に協会へ返送

詳細は問題・答案用紙と同封してお届けの「準会場の手引き」にてご確認ください。



問題用紙の返却

問題用紙は検定日の翌日以降に受検者へお渡しください。

なお検定日の約5日後から漢検ホームページで標準解答を公開します。

結果について

WEB合否結果公開

準会場:約25日後/公開会場:約30日後

WEB合否結果公開予定日や
検定結果資料発送予定日は、
団体専用ページで確認できます。

「団体専用ページ」で合否結果を確認できます。
(WEB合否結果公開までの日数はあくまで予定ですので前後する場合があります)

ココが便利!

- 級別の合格状況、受検者の得点や合否、合格認定日を確認することができます。
- 結果のデータをダウンロードすることができます。

【ダウンロードしたデータの活用例】

- ・ Excel(エクセル)ファイルで生徒の受検履歴を一括管理
- ・ 合否結果を一行ずつ印刷して、該当の受検者に配布



検定結果資料発送

準会場:30~35日後/公開会場:約40日後

団体担当者宛に検定結果資料が届きます(結果資料発送までの日数はあくまで予定ですので前後する場合があります)。
なお、検定日の約5日後から漢検ホームページで標準解答を公開します。



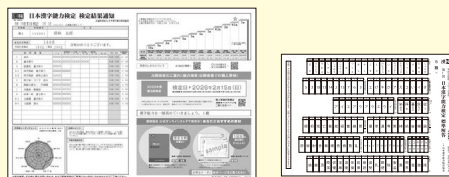
受検者用



1人1冊に
まとめて
お届けします

受検者全員に

- 検定結果通知・標準解答



合格者に

- 合格証書または満点合格証書(A4サイズ)



満点合格した
方には
特別な合格証書!

- 合格証明書(A5サイズ2枚)

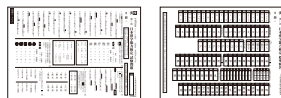


欠席者に

- (準会場受験の場合)標準解答



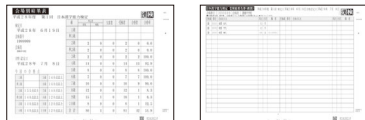
- (団体公開会場受験の場合)問題用紙・標準解答



団体担当者用

受検結果名簿

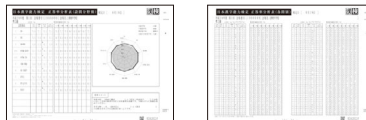
受検者の合否結果を一覧にしています。
成績の把握に便利です。



※個人情報のお取り扱いには十分ご注意ください。
※お申し込みの際、クラス単位の受検者名簿を希望された場合は、受検結果名簿も級別・クラス別の2種類をお送りします。

正答率分析表

一問ずつの正答率を掲載しています。受検者の得意・不得意な分野や問題点がわかり、今後の指導に役立ちます。



- (準会場受験の場合)団体担当者用標準解答(冊子)

団体公開会場受験の場合は、問題もお送りします。

- 家族受検表彰制度 申請書

制度の申請についてはP.17をご覧ください。

※画像はすべてイメージです

検定結果資料の梱包順序について ~志願者情報「有」申込の場合~

志願者情報「有」での申し込みで準会場の志願者が合計30名以上かつクラス単位の受検者名簿を「希望する」にした場合は、受検者の冊子はクラスごとに、受検級ごと、受検番号順(昇順)の梱包となります。それ以外は、受検級ごと、受検番号順(昇順)の梱包となります。

団体公開会場受検

※同一回の準会場受検の志願者が10名以上いる場合、公開会場の志願者は団体公開会場受検として1名から申し込みます。申込方法の詳細は漢検ホームページの「よくある質問」をご確認ください。

検定日

2026年度 検定日程

検定日	検定日	申込締切日(協会必着)	
		郵送	インターネット
第1回	2026年 6月21日(日)	2026年 4月14日(火)	
第2回	2026年 10月18日(日)	2026年 8月 3日(月)	
第3回	2027年 2月14日(日)	2026年 11月30日(月)	

申し込み～結果到着の流れ

団体公開会場受検 1級～10級の公開会場での志願者が合計 **10名** 以上必要

準備 ▶ P.3	—	<ul style="list-style-type: none"> ● 申込用の資料を入手する ※資料の不足があれば協会までご連絡ください。 ● 団体内で漢検についての情報や実施目的を共有し、検定日や受付期間を決定する。 										
案内・募集 ▶ P.3	申込締切日の約1か月前	<ul style="list-style-type: none"> ● 検定日・受付期間・申込方法を案内する。 ● 「公開会場用願書」と「検定料納入袋」を配布し、ポスターを掲示する。 										
申し込み ▶ 本ページ下段	申込締切日 上の表をご確認ください。	<ul style="list-style-type: none"> ● 公開会場用願書・検定料を集める。 ● 申込締切日までに協会へ申し込む(締切日必着)。 ※締切日を過ぎての志願者の取り消し・追加・変更はできません。 ● (郵送申込の場合)「団体専用ページ」にて申込受領状況を確認する。 										
検定料払込	検定日約2週間前	● 専用の払込票で、検定日前日までに検定料を払い込む。										
検定実施準備	検定日数日前	● 志願者全員分の受検票が担当者のもとへ到着する。▶ 志願者へ配付する。										
検定実施	検定日当日	<ul style="list-style-type: none"> ● 志願者が各自で受検票に記載されている会場へ行く。 (3級以上は顔写真(縦4cm×横3cm)を受検票に貼付して持参) ※検定開始15分前までに入室してください。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>検定時間</th> <th>8級/9級/10級</th> <th>10:00～10:40(40分)</th> <th>準2級/4級/6級</th> <th>13:40～14:40(60分)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>1級/2級/7級</td> <td>11:50～12:50(60分)</td> <td>準1級/3級/5級</td> <td>15:30～16:30(60分)</td> </tr> </tbody> </table>	検定時間	8級/9級/10級	10:00～10:40(40分)	準2級/4級/6級	13:40～14:40(60分)		1級/2級/7級	11:50～12:50(60分)	準1級/3級/5級	15:30～16:30(60分)
検定時間	8級/9級/10級	10:00～10:40(40分)	準2級/4級/6級	13:40～14:40(60分)								
	1級/2級/7級	11:50～12:50(60分)	準1級/3級/5級	15:30～16:30(60分)								
結果発送 ▶ P.14	検定日約5日後	● 標準解答WEB公開										
	検定日約30日後	● 「団体専用ページ」にてWEB合否結果公開開始(担当者のみ閲覧可能)。										
	検定日約40日後	<ul style="list-style-type: none"> ● 検定結果資料・標準解答が担当者宛に発送される。 ▶ 受検者に結果資料と標準解答を配付する。▶ 欠席者に問題と標準解答を配付する。 										

申込方法

STEP 1 申し込む

※インターネット申込(志願者個別決済方式)・FAXでのお申し込みはできません。

● インターネット申込(団体一括決済方式)

「団体専用ページ」にログインし、「団体受検申込」の検定日選択画面で「公開会場」の検定日を選択



おすすめ

インターネット
申込なら申込締
切日当日まで申
込内容の変更が
可能です

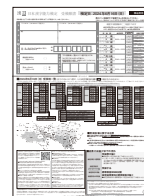
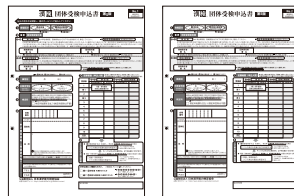
● 郵送申込

※申込締切日前であっても申込後の追加・変更・取り消しはできません

申込必要書類を郵便または宅配便で一括送付 **送付先 協会本部(京都)**

● 団体受検申込書No.1・2(協会行1・2)

● 志願者全員分の公開会場用願書



※住所・電話番号の記入は不要です。受検票、標準解答、検定結果資料は担当者宛にお届けします。
※繰越者の場合は「協会使用欄」に「繰越者」とご記入ください。

STEP 2 検定料を払い込む **変更点**

級別の人数、検定料控除の希望状況をもとに団体ごとの請求額を算出し、検定日の約2週間前に請求書兼払込取扱票(専用の払込票)をお送りします。

検定日前日までに払い込んでください。

$$\text{検定料総額 (新規志願者から集金)} - \left(\begin{array}{l} \text{控除} \\ \text{検定運営手数料 (A)の50\%} \\ \text{※P.9の表参照} \end{array} \right) + \left(\begin{array}{l} \text{控除} \\ \text{申込代行手数料} \\ \text{・インターネット申込の場合(A)の20\%} \\ \text{・郵送申込の場合は適用外} \end{array} \right) = \text{請求額}$$

※新規志願者から検定料を前もって割り引いて集金することは不可。
※検定料控除制度についてはP.9にてご確認ください。

各種制度について(準会場・公開会場共通)

《学習意欲向上に》 表彰支援制度

「表彰支援制度」とは、受検者の学習意欲向上を支援するため、「表彰支援セット」(無料)を協会から団体へお送りする制度です。合否にかかわらず、各団体が独自の基準で表彰することができます。

- 志願者数「各回30名」以上でご申請いただけます。
- ご希望に応じて、賞状に団体名、学校長等の授与者名、受賞者名を印字してお届けします。
※印字なしの賞状をお選びいただき、団体内でご記入いただくこともできます。



イメージ

申請資格	漢検の団体受検(紙の検定*1)、漢検オンライン(*2)の団体受検の同一回内の志願者数が合計30名以上であること		
	<p>*1【紙の検定:検定回】 第1回(6~7月)、第2回(8~11月)、第3回(1~2月)</p> <p>*2【漢検オンライン受検日】 4月1日~ 7月31日 → 第1回の検定分として申請可 8月1日~11月30日 → 第2回の検定分として申請可 12月1日~ 3月31日 → 第3回の検定分として申請可</p>		
申請時期	各回検定申込後~当該年度の3月31日まで ※各回の申込人数が確認できた後にお送りします。 同一回の複数日程の合算で申請される場合は、全日程の申込完了後にご申請ください。		
1セットあたりの内容物	賞	正賞(賞状)	副賞
	最優秀賞	1枚	賞状は各賞の申請可能枚数の範囲内で希望数を申請できます
	優秀賞	2枚まで	
努力賞	3枚まで	文具またはグッズ 最大6個 ※正賞と同数	
申請可能数	各回30名につき1セット(各回上限6セットまで)		
発送時期	申請から約1週間~10日ほどで発送予定(各回の申込人数が確認できた後にお送りします) ※年末年始やお盆、祝日など変則となることがあります。 ※送付に関わる業務の一部を発送代行業者に委託する場合があります。		

受賞者選定の基準例

- ・ 最上級の最高得点者
 - ・ 大幅に得点がアップした受検者
 - ・ 継続して受検を続ける受検者
 - ・ 合格率が最も高かったクラス
- など、合否にかかわらず、各団体が独自の基準で表彰することができます。



申請方法

WEBフォームからご申請いただけます。



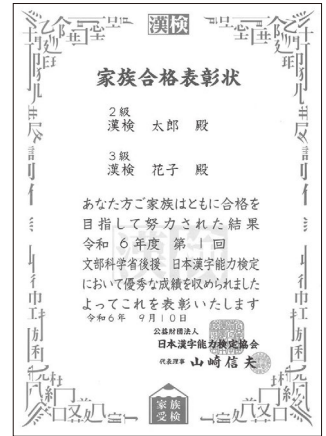
WEB
フォームは
こちら

家族受検表彰制度

「家族受検表彰制度」とは、家族で受検し合格された場合、個別の合格証書に加えて「家族合格表彰状」を贈呈する制度です。

申請資格

- 1 申請者全員が家族・親族であること
※同居の必要はありません。
※表彰状は各回一家族1枚のみ発行します。同一人物の名前を複数の表彰状に記載することはできません。ご家族が複数日程に分かれて受検される場合は、ご家族全員の可否が判明した後に申請してください。
- 2 申請者全員が同年度同回において漢検1～10級のいずれかに合格していること
※個人受検・団体受検におけるすべての受検方法が対象です。
- 3 申請者数が2名以上6名以下であること
※複数の級に合格されている場合、合格者はのべ人数で数えます（例：2級と準2級に合格した場合、合格者は2名とみなします）。ただし、同一人物が1名だけで申請することはできません。



※イメージ

申請方法

■WEBフォーム ※団体担当者専用

POINT

- ・受付期間は24時間申請可能です。
- ・1申請ごとに受付完了メールが届きます。



WEB
フォームは
こちら

■郵送

- ①「家族合格表彰状 申請書」が検定結果資料とともに団体担当者宛に届く。
※「団体専用ページ」や漢検ホームページからもダウンロードできます。
- ②必要事項を記入し、申請締切日までに郵送する。

<注意事項>

- ご申請の際は、認証番号が必要です。認証番号は、合格証書の左端もしくは受検結果名簿の備考欄に記載されている11桁の英数字です。
- WEBフォームからご申請の場合は、1回の申請につき、一家族の申請となります。郵送でご申請の場合は、申請書1枚につき、一家族の申請となります。

申請締切と送付時期の目安

検定	申請締切	送付時期
第1回	9月上旬	9月下旬
第2回 夏	11月上旬	11月下旬
第2回 秋	1月中旬	2月上旬
第3回	4月下旬	5月中旬

※申請締切日は「家族合格表彰状 申請書」でご確認ください。

各種制度についてのQ & A

Q.1～Q.3

Q.1 (表彰支援制度) 第2回の8月検定と10月検定で合計200名の志願者がいます。最大6セットもらえますか？

A はい。6セットをご申請いただけます。各回の申込人数が確認できた後にお送りしますので、10月検定のお申し込み完了後にご申請ください。

Q.2 (表彰支援制度) 第1回と第2回の志願者を合計すると30名以上になります。1セットもらえますか？

A いいえ。「当該年度の累積」ではなく、「各回あたり」の志願者30名以上で申請が可能です。
※第1回(6～7月)、第2回(8～11月)、第3回(1～2月) ※漢検オンラインの各回対象期間はP.16をご参照ください。

Q.3 (表彰支援制度) 第1回の6月検定(紙の検定)で20名、漢検オンラインで4月～7月に10名、合計30名で申し込んでいます。1セットもらえますか？

A はい。1セットをご申請いただけます。
※漢検オンラインの各回対象期間はP.16をご参照ください。

特別欠席制度について

申請締切日 検定日 10日後

団体受験欠席者のうち、【表】の欠席理由に該当すると認められた欠席者の受験機会を、同一団体・同一検定(漢検)内での受験に限り、次回^{*}以降に繰り越すことができる制度です。 ※欠席した検定日と締切日の間が3週間未満の日程を除く

この制度を利用するには、必要書類を申請締切日(検定日10日後)までにご提出のうえ、協会の承認を得る必要があります。提出された書類に不備がある場合や、協会での審査の結果、欠席理由に該当しないと協会が判断した場合は、受験機会を繰り越すことはできません。あらかじめご了承ください。

●【表】特別欠席の対象となる欠席理由 (前提条件:申し込まれた検定日の協会締切日より後に欠席することが決定した場合に限る)

欠席理由	詳細	必要書類	留意事項
1 忌引き	葬儀・通夜のみ適用(親等・日数の適用範囲は各団体の定める基準に準ずる。法事は対象外)	特別欠席申請書 (WEB申請の場合は不要。 郵送申請の場合は、「団体専用ページ」からダウンロード。)	
2 感染症	学校保健安全法施行規則第三章第十八条に定められた感染症に感染し、検定当日出席停止となった場合 【申請しても特別欠席の対象とならない例】 ・検定日が出席停止の期間と重なっていない場合 ・風邪、骨折など上記規則に定められていないその他の傷病 ・本人が感染していない場合 ※感染症(インフルエンザ、新型コロナウイルス等)により休校・学年閉鎖・学級閉鎖となった場合は、本人が感染していなくても同一団体・同一検定(漢検)内での受験に限り、欠席者の受験機会を次回以降に繰り越します。	※特別欠席/同意書(「団体専用ページ」からダウンロード)は協会への提出不要ですが、欠席理由の通知および必要時の診断書提出について欠席者・保護者からの同意を示す大切な資料です。お取りまとめいただき、結果送付の時期まで(繰越権利の付与が確認できるまで)保管いただくようお願いいたします。	・病名だけで判断しかねる場合、診断書のご提出をお願いすることがあります。
3 公式大会への出場	【申請条件】《下記、3項目をすべて満たしている場合に限る》 1.大会主催者が、国・地方自治体、および全国的に組織された団体であること (「公財」日本スポーツ協会、「公財」全国高等学校体育連盟、「公財」日本中学校体育連盟、「公社」全国高等学校文化連盟、教育委員会など) 2.検定当日に在籍している学校の代表として出場する場合 3.申し込まれた検定日の協会締切日より後に大会出場が決定した場合 【申請しても特別欠席の対象とならない例】 ・監督・コーチなど引率の教職員、保護者など生徒以外の欠席者 ・大会要項に記載のない補欠・マネージャーなど選手以外の欠席者 ・親善試合・練習試合など一日限りのもの、市内大会など限られた地域内の試合で上位大会につながらないもの、強化合宿、記録会 ・習い事やクラブチームで個人的に出場する場合 ・正規の部活動ではなくサークル・同好会からの出場	特別欠席申請書 (WEB申請の場合は不要。 郵送申請の場合は、「団体専用ページ」からダウンロード。) 大会要項の協会への提出は不要です。	
4 入試・就職試験・外部(就職先・進学先など)の実習	その試験・実習に参加しなければ、進級・進学・就職ができない場合 【申請しても特別欠席の対象とならない例】 ・体育祭や補習、追試など校内で日程を決めるもの ・オープンキャンパスや進路相談会など任意参加のもの	特別欠席申請書 (WEB申請の場合は不要。 郵送申請の場合は、「団体専用ページ」からダウンロード。) + 試験・実習の概要が確認できる文書 ^(※1)	(※1) (下記1~3は必須項目) 1.試験・実習の概要 2.文書発行者 3.試験・実習の日時

●「特別欠席」申請から承認までの流れ

- 申請に必要な書類を申請締切日までに協会へ提出する。
・検定日以前にわかっている場合はなるべくお早めにご申請ください。
・申請はWEB申請フォームもしくは郵送でお願いします。 **変更点**
- 協会にて審査を行う。
・承認されなかった場合は、申請後2週間以内に電話にてご連絡いたします。
※申請後2週間たっても協会からの連絡がない場合、申請いただいた内容で承認されています(3)をご覧ください。
- 「団体専用ページ」から繰越者の情報が確認できるようになる(結果送付日から)。
・今回承認された繰越者のみでなく、過去に繰り越しの権利を取得し、有効期限内の未行使権利をもつ繰越者も確認することができます。
・画面上で確認するだけでなく、繰越者に通知するための「繰越通知書」を印刷することもできます。
※申請され、非承認の連絡がなかったにもかかわらず、繰越者の情報(氏名)が表示されていない場合は、検定結果資料到着から1か月以内に協会までお問い合わせください。

申請締切日 検定日から10日後

申請方法

WEB 申請フォームからご申請いただけます。



「入試・就職試験・外部(就職先・進学先など)の実習」の申請に必要な書類は、ひとつのPDFファイルにまとめ、申請時に添付してください。

郵送 封筒の表に「特別欠席申請」と明記し、協会本部(京都)宛にお送りください。
※申請書は「団体専用ページ」からダウンロードが可能です。

特別欠席が承認された欠席者のことを以降「繰越者」と呼びます。

繰越期限 欠席した検定日より約1年
(次年度同一検定回の最終日程まで)

2026年1月31日(土)検定で承認された場合は、2027年2月14日(日)検定まで使用可能

●繰越者を含む申込方法はP.11をご参照ください。

※2025年度以前に特別欠席制度で取得した繰越権利を利用し、申し込みをされる場合、検定料改定に伴う差額分の検定料請求が発生します。

